

Satellite Communication

時々 心に描く未来予想図には
あなたの手を握りしめている私がある・・・春の予感

2017年3月

冬が終わり、社員旅行の季節が来たぞ！

今年の社員旅行第一便がいよいよ来月、四月十八日・十九日の一泊二日で行われます。一便は昨年より天候不順な二月を避けて四月になりましたが、今年も二月だったら寒い日もあり風が強い日もあったりと大変なことになるそうでした。でも四月もどうなるかはわかりませんよ、天候だけは本当に予測できない、旅行幹事の心配事は絶えません。

さて、一便はどこに行くかと思いきやなんと、福島は会津に決まりました。日本でも三番目に広い面積の都道府県である福島県です。福島は、東西南北と中央とで五つのエリアに分かれます。会津は南エリアになります。

かつて社員旅行の歴史の中で、猪苗代湖も行ったし鶴ヶ城にも行きました。今回が三度目の福島になります。会津のホームページには、「あったんです。極上の日本が。極上の会津」というキャッチフレーズがありました。大いなる自然と昔からの文化が融合している土地ですのでめいっぱい楽しんで来てください。

少しだけ旅行の内容を紹介しましょう。旅行と言えば、まずは温泉ですね。今回宿泊する宿は、芦ノ牧温泉の「大川荘」です。大自然に囲まれた絶景の温泉が売りの宿です。湯船から眺める景色がとにかく絶景ということ。開放感にあふれるまさに温泉パラダイス、間違いのない！緑豊かな木立に囲まれた抜群のロケーションと風土色豊かな素材を活かした料理を堪能してください。



以前の会津旅行でも行ったことがありますが、今回も「大内宿」を観光します。「大内宿」は標準語だと（おおうちじゅく）と読むのですが会津弁だと（おおちじゅく）と読むそうです。さて、この場所は江戸時代に会津西街道（別称下野街道）の「半農半宿」の宿場だったそうです。現在でもその雰囲気をよく残し、田園の中の旧街道沿いに茅葺き民家の街割りが整然と並び様はまさに時代劇の一シーンのようです。茅葺の民家は、食べ物屋さんからお土産までいろいろとあります。特に有名なのは、三澤屋さんのそばです。高遠そばに丸一本ねぎが入っており、そのネギを箸にして食べるのが特徴です。けっこう、並んでいる場合がありますのでそのときの状況で味わってください。

塔のへつりの有名な吊り橋、藤見橋です



大内宿の近くにある観光スポットに「塔のへつり」があります。へつりとは地元の言葉で断崖のことです。長い年月をかけて自然が作り出したこの渓谷は、塔の形が立ち並ぶ断崖という意味から「塔のへつり」と名づけられたそうです。塔の形をした断崖まで吊り橋が架けられ、断崖内部の一部を見学することもでき、その特異な形から、一九四三年に国の天然記念物に指定されています。塔のへつりには、形状によって様々な岩の名がつけられています。「夫婦石」と呼ばれるものもあります。想像力を働かせてみるのも楽しいの一つです。

今回の社員旅行の一部を紹介しました。いかがですか、参加する方は、きっとワクワク感が止まらないでしょう。福島は、距離的には遠方になりますが、長い時間をかけてもきっと仲間がいるのでさぞ、楽しい旅行になることでしょう。旅行が終わったら、また詳細を掲載しますのでお楽しみに・・・



淡水湖では日本では3番目に大きな湖で、面積は103.32平方km、深さは93.5mあります。猪苗代湖の特長は透明度12～15の澄んだきれいな水です。



高遠そば・・・コシの強い蕎麦に冷たいだしと大根おろし、鰹ぶしをかけて、いただきます。一番の特徴は箸代わりの長ネギ、ネギをかじりながら食べると、ネギと大根の辛みと蕎麦の風味が口の中で混ぜ合い、大変美味しいです。